

目次・使い方	はじめに	CEOメッセージ	持続可能なモビリティ社会の実現に向けて	ブルーシチズンシップ —日産のCSR—	ルノーと日産のアライアンス	CSRデータ集	第三者保証
環境	安全	社会貢献	品質	バリューチェーン	従業員	経済的貢献	コーポレートガバナンス・内部統制

CEOメッセージ



“より安全で持続可能なモビリティの時代が近づいています。
日産は、その新たな時代への道を切り拓いていきます”

カルロス ゴーン
日産自動車株式会社 社長兼最高経営責任者 (CEO)

目次・使い方	はじめに	CEOメッセージ	持続可能なモビリティ社会の実現に向けて	ブルーシズンシップ —日産のCSR—	ルノーと日産のアライアンス	CSRデータ集	第三者保証
環境	安全	社会貢献	品質	バリューチェーン	従業員	経済的貢献	コーポレートガバナンス・内部統制

日産には使命があります。日産は自動車業界で最も社会・環境に対する責任を果たすメーカーになりたいと考えています。世界で最も持続可能な会社の一つになること。それが、日産の使命です。

資源の保護、クルマの安全性・品質・燃費の向上、優れた技術を持つ多様な人材育成、そして社会貢献活動を着実にすすめていくことをはじめとする、数々のグローバルな取り組みは、その目標達成のための活動の一環です。持続可能性の視点は、今や日産の企業戦略、事業運営、そして文化の一部であり、効果は如実に現れています。

持続可能性を優先させることで、日産は今まで以上に効率性、回復力、そして競争力をつけた会社になりました。日産は、事業を発展させ、お客さまのニーズにお応えするだけでなく、現代社会が直面する最重要課題であるモビリティ、安全、そして環境上の問題解決にも寄与する最先端の商品開発が可能であることを証明しました。

日産は持続可能性に向けた取り組みを通じて大きな成果を生み出しており、今後はさらに活動を加速していきます。数々の課題解決には、さらなる取り組みが求められます。気候変動、

急速に進む都市化、高齢化に対応するモビリティやクルマの安全性など、テーマを問わず、日産は解決策を見出すことをお約束します。

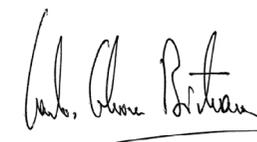
重点領域のひとつは、日産の目指す「ゼロ・エミッション」と「ゼロ・フェイタリティ」¹のクルマ社会を実現することです。本活動の先駆けとして、世界初の量販ゼロ・エミッション車「日産リーフ」の発売を2010年に開始しました。「日産リーフ」は今や自動車史上最も売れている電気自動車となり、日産は自動車業界におけるゼロ・エミッション領域のリーダーとしての地位を確立しました。

しかしながら、クルマの使い方とその効果を大きく変える日産の画期的な取り組みは、電気自動車の成功にとどまりません。自動運転技術を市場に投入する計画も、胸躍る活動です。自動運転車は、究極的には死亡事故ゼロを実現する可能性を秘めており、日産は最前線でその開発にあたっています。自動運転車は交通事故を減らすだけでなく、省エネ、交通管理の向上、そしてドライバーのストレス軽減を可能にします。自動運転車の開発を進め、2020年までに日産は自動運転技術を搭載した車両を順次投入し、お客さまにそのメリットを感じていただきます。

¹ 日産自動車がかかわる交通事故による死亡・重傷者数実質ゼロ

日産は引き続き大胆な発想で、モビリティの価値向上と人々の生活を豊かにすることを目指します。サプライヤー、販売会社をはじめ、さまざまなパートナーと力を合わせて新たな技術の活用方法を模索していきます。

より安全で持続可能なモビリティの時代が近づいています。日産は、その新たな時代への道を切り拓いていきます。



カルロス ゴーン
日産自動車株式会社
社長兼最高経営責任者 (CEO)